

1. はじめに

平成25年6月に開催しました第1回目の説明会から2年が経過しました。

本号では、これまでの説明会や配布資料（美岡だよりなど）で説明してきました美作岡山道路に係る県・町の考えを整理し、改めて皆様方へお伝えさせていただきます。

2. 主な整備効果

美作岡山道路は、移動時間の大幅な短縮が図られる自動車専用の道路であるとともに、規格の高い構造で計画した安全性と信頼性の高い道路でもあります。

県では、このような利点を持った美作岡山道路により、広域的な交流の促進や沿線地域の活性化、安全・安心の確保などを図るため、早期開通に向けて建設を進めているところです。

また、町においては、柵原ICの設置による地域への波及効果を期待しており、さらには、将来の発展に向けてICの強みを生かした地域振興策を検討していきたいと考えています。

期待される効果の一例

広域的な交流の促進

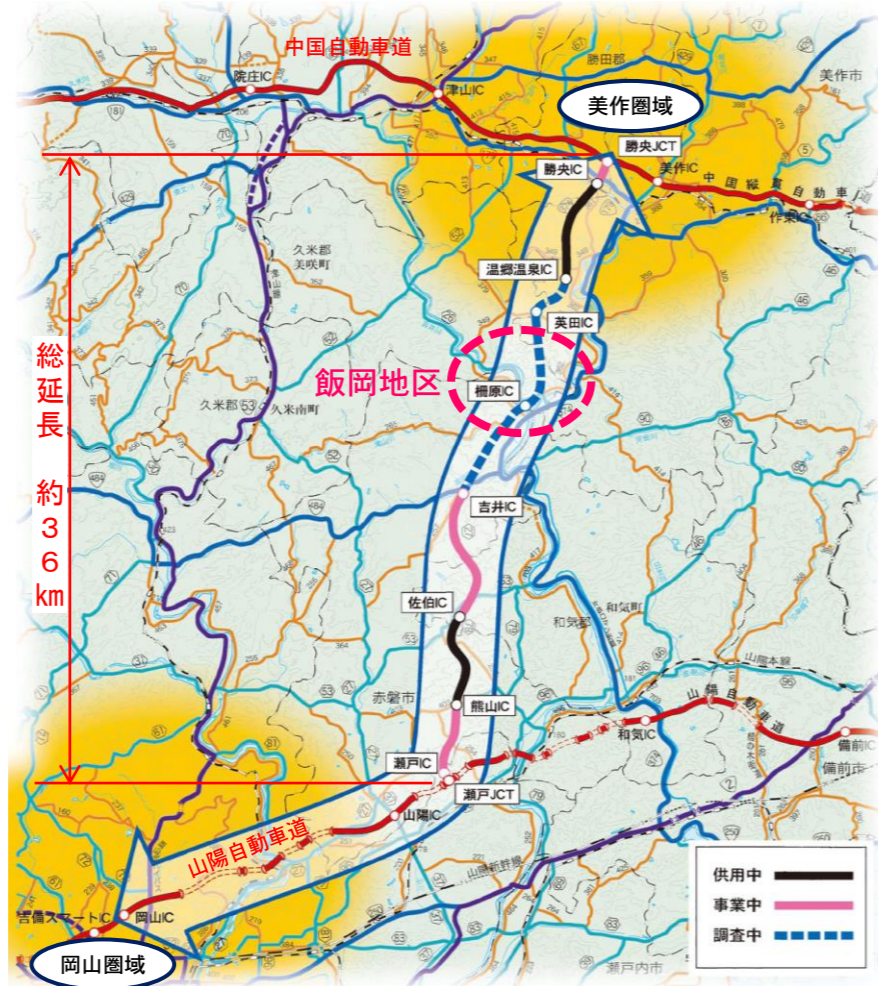
- 通勤・通学圏の拡大
- 観光客の増加
- 1ターンの機運醸成

沿線地域の活性化

- 企業立地の促進
- 雇用・定住の促進
- 地場産品の販路拡大

安全・安心の確保

- 救急搬送時間の短縮
- 交通事故の減少
- 災害時の物資輸送確保



飯岡地区では「岡山・津山方面等への通勤・通学の負担軽減」、
「津山中央病院までの救急搬送時間の短縮（約9分短縮）」、
「柵原ICの強みを生かした地域振興の促進」などの効果が期待されます。

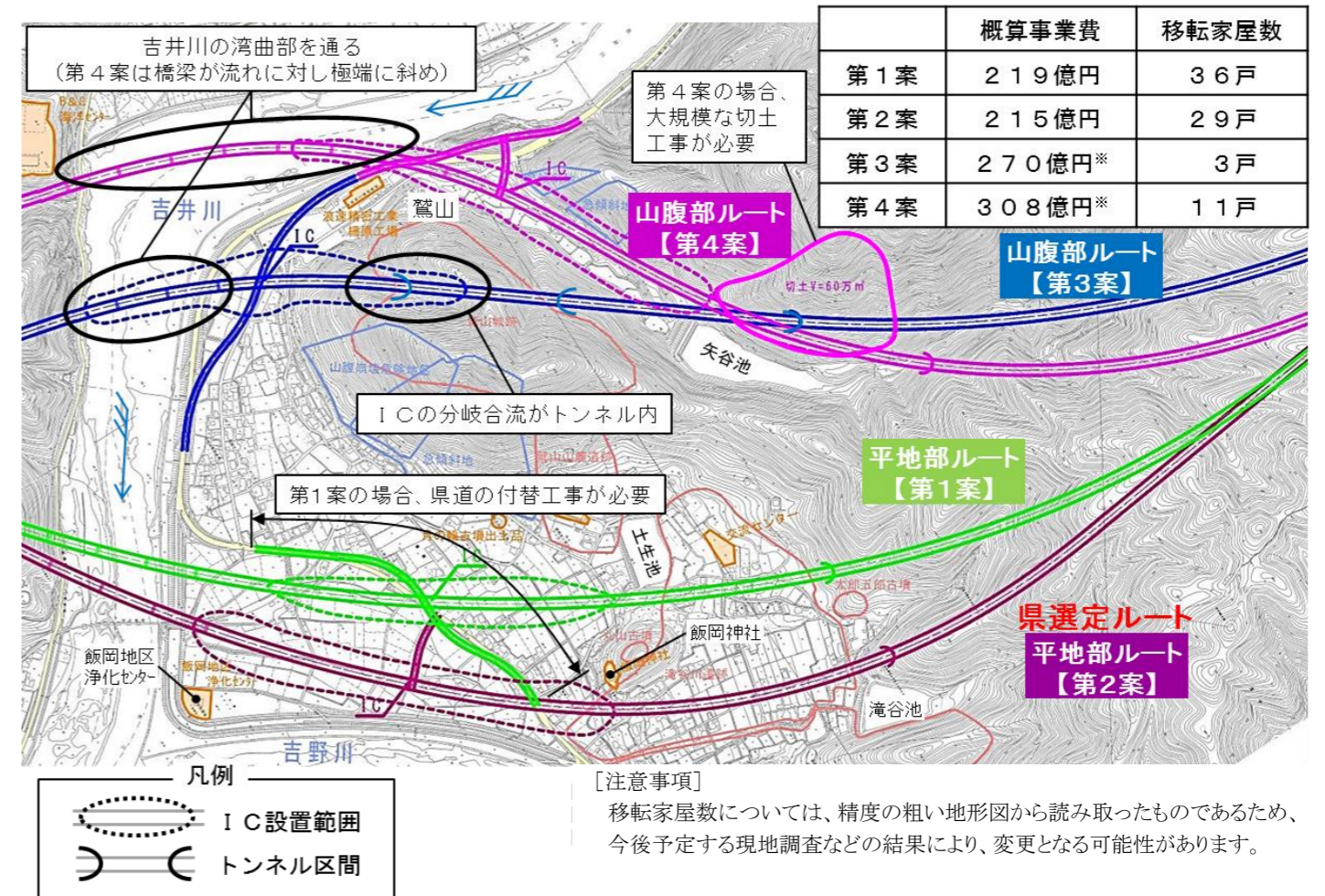
3. ルート選定理由

県が最適と考えるルートは、IC設置を前提に平地部（第1案、第2案）と山腹部（第3案、第4案）を通る4つのルート案を比較して選定しました。

山腹部を通る2つのルート案は、治水上や交通安全上問題があるなどのほか、事業費が平地部と比べ著しく高額となるため、事業実施が不可能と判断しました。

よって、事業実施が可能な平地部の2つのルート案を比較した結果、移転対象の家屋数が少なく、県道の付替工事が不要である第2案を最適なルートとして選定しました。

※ 第3案と第4案の事業費については、治水上の問題などを考慮せずに算出したものです。



4. 内水排除対策

県・町では、美作岡山道路の建設にあたり、飯岡地区の内水排除対策（水中ポンプの設置）を連携して取り組んでいきます。

その際には、道路の建設に伴う内水への影響を考慮して、湛水防除事業で用いられる基準に従い水中ポンプの排水能力（計画排水量）を計画します。

なお、水中ポンプの設置位置や構造などについては、ルート合意をいただき、測量や道路設計を実施した上、地区と話し合いながら検討していきたいと考えています。

一方、町の災害ハザードマップで示す河川の流水が堤防を越えるような大水害が起これば、美作岡山道路の有無にかかわらず、水中ポンプでは浸水被害を防ぐことができません。

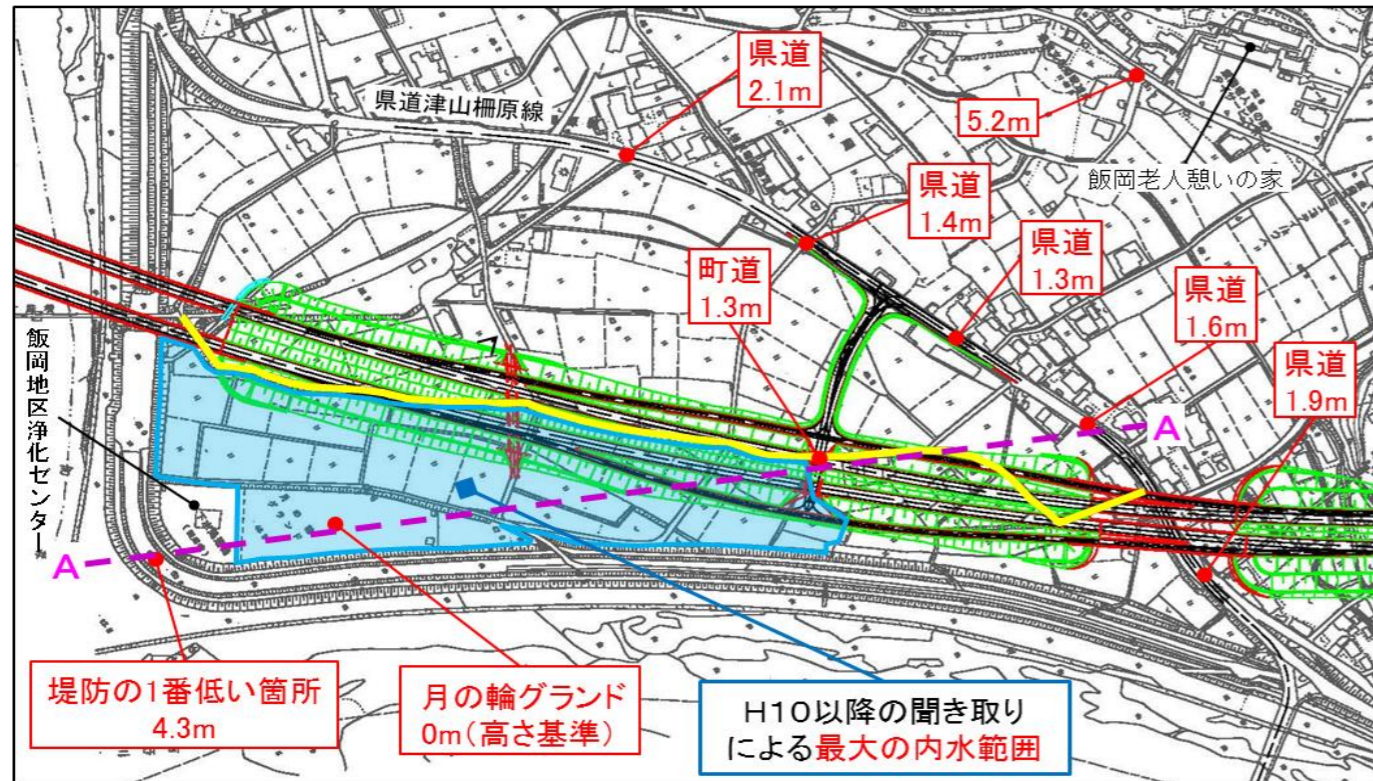
このような事態には、いわゆるソフト対策（避難行動）が重要となり、町では災害情報の伝達や避難所の開設など、避難に役立てていただけるよう防災活動に取り組みます。

また、このような事態が生じた時に美作岡山道路が開通していれば、緊急輸送道路として災害対応に大きく寄与[※]するものと考えています。

※ 東日本大震災では、三陸縦貫自動車道などの緊急輸送道路が物資輸送や救援・救助活動、応急復旧工事などに大きく寄与しました。

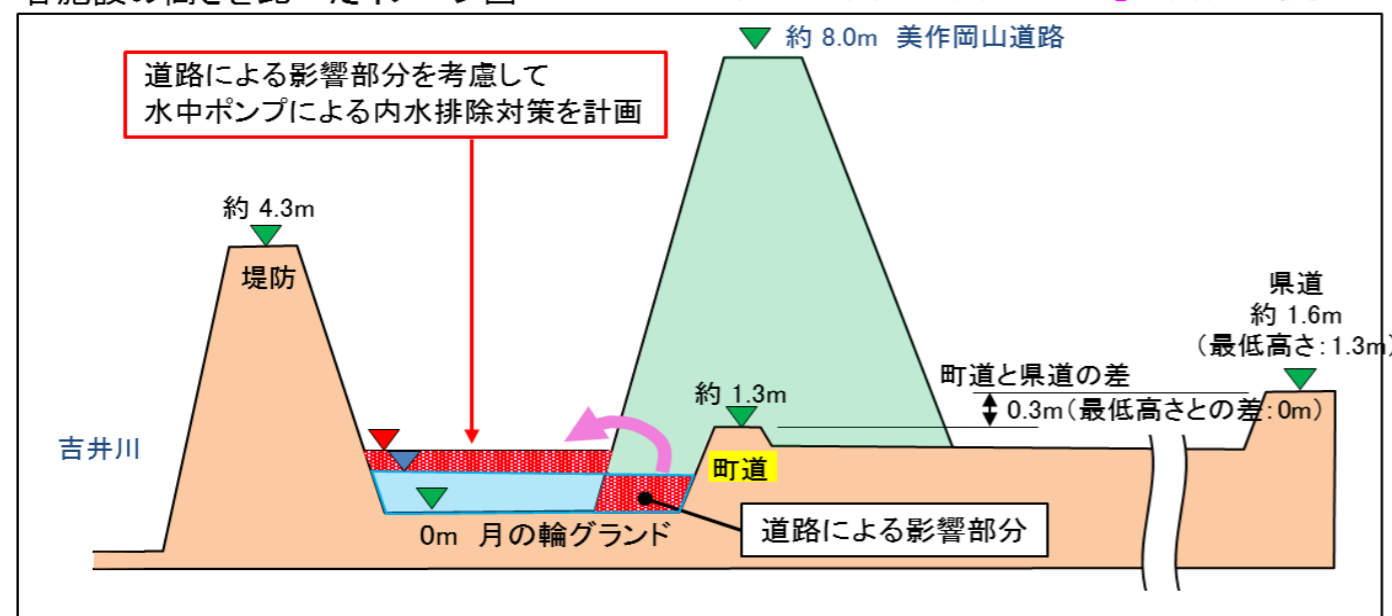
平面図

※図中の数字は、月の輪グラウンドの高さを「0m」とした時の高さを表している

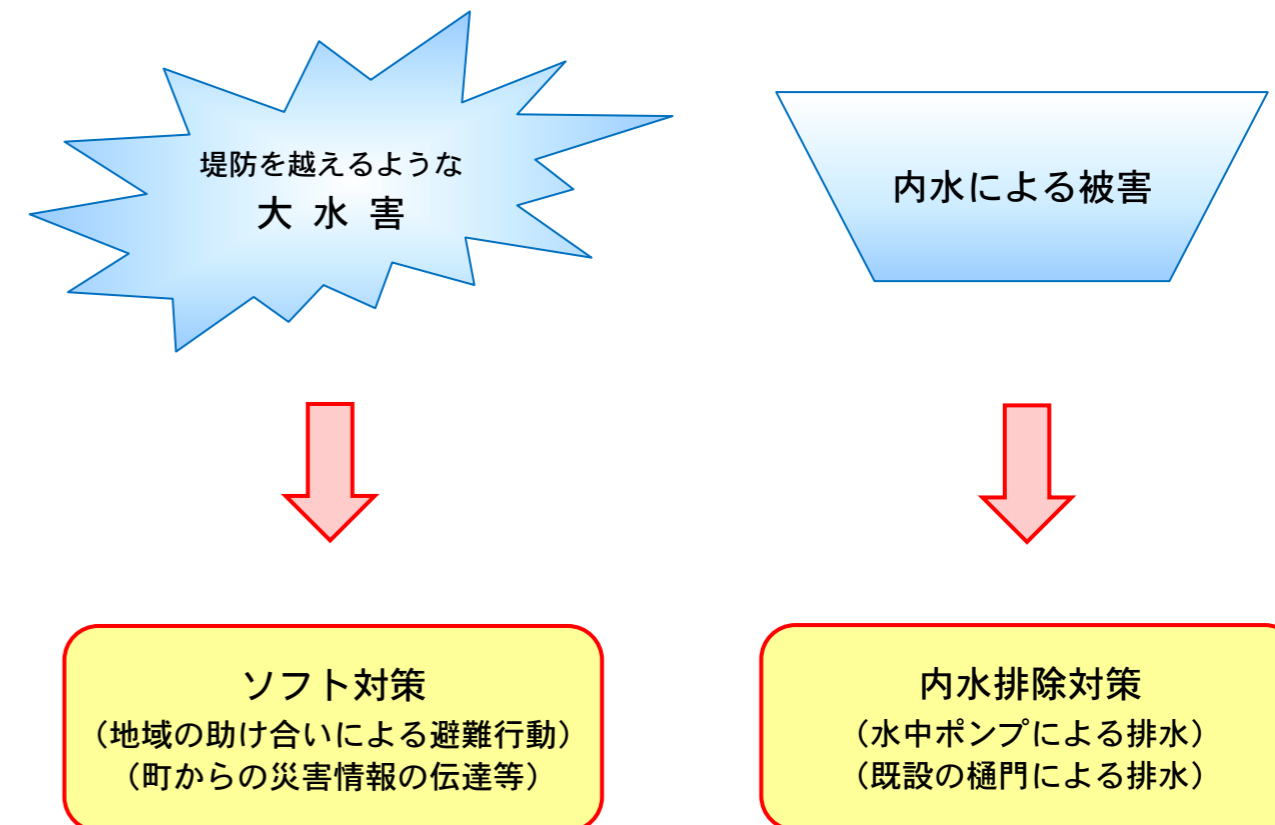


各施設の高さを比べたイメージ図

※イメージ図は上図「A---A」の断面です。



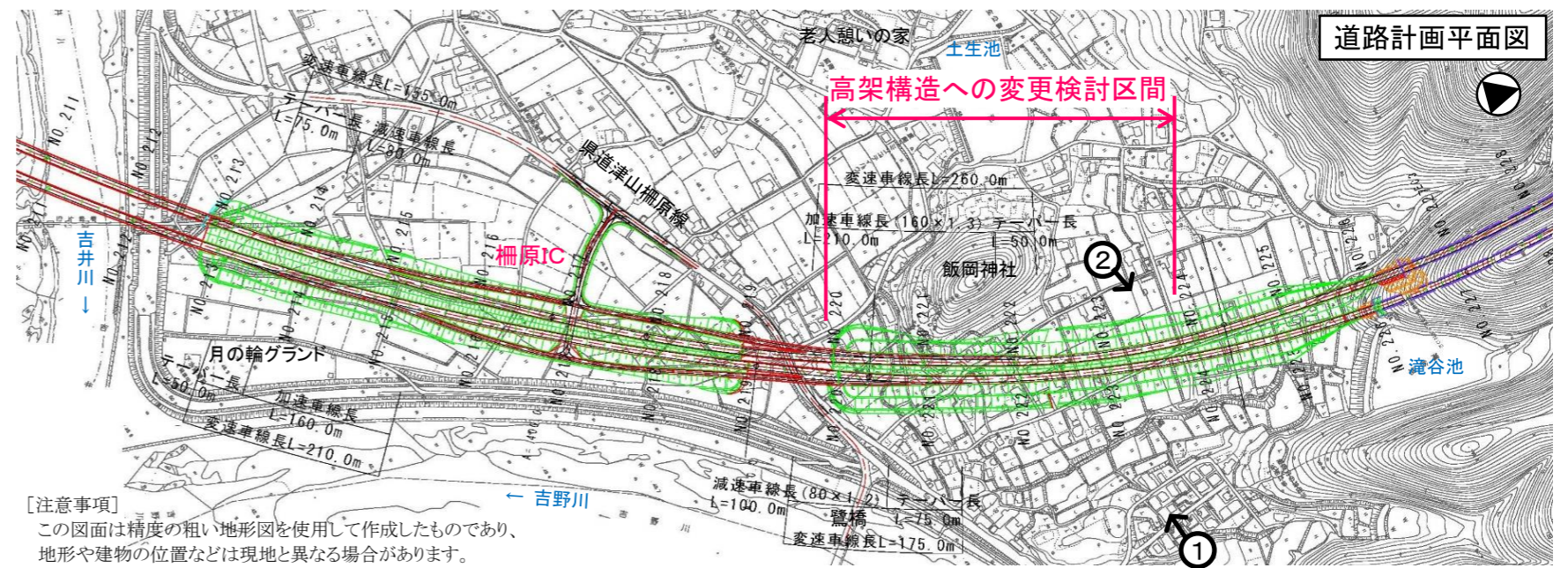
災害規模に応じた防災対策のイメージ



5. 地域コミュニティへの配慮

これまでの説明会において「道路により地域が分断し、地域コミュニティが衰退する」というご意見や「県道から北側を高架構造に変えてほしい」というご要望をいただいています。これを受けて県では、地域コミュニティへの影響の軽減を図るため、県道津山柵原線から北側の一部区間について、高架構造への変更を検討することとしています。なお、具体的にどの区間を変更するかについては、今後、地区と話し合いながら決定していきたいと考えています。

町としては、柵原ICの設置を契機に柵原地域の魅力を高めるため、町の玄関口として相応しい観光拠点の整備などといった地域振興策について、飯岡地区の活性化にも繋がるよう検討していきたいと考えています。また、移転をお願いする方々に対しては、ご本人のご意向を尊重した上で、地区のご協力をいただきながら町として誠実に対応します。



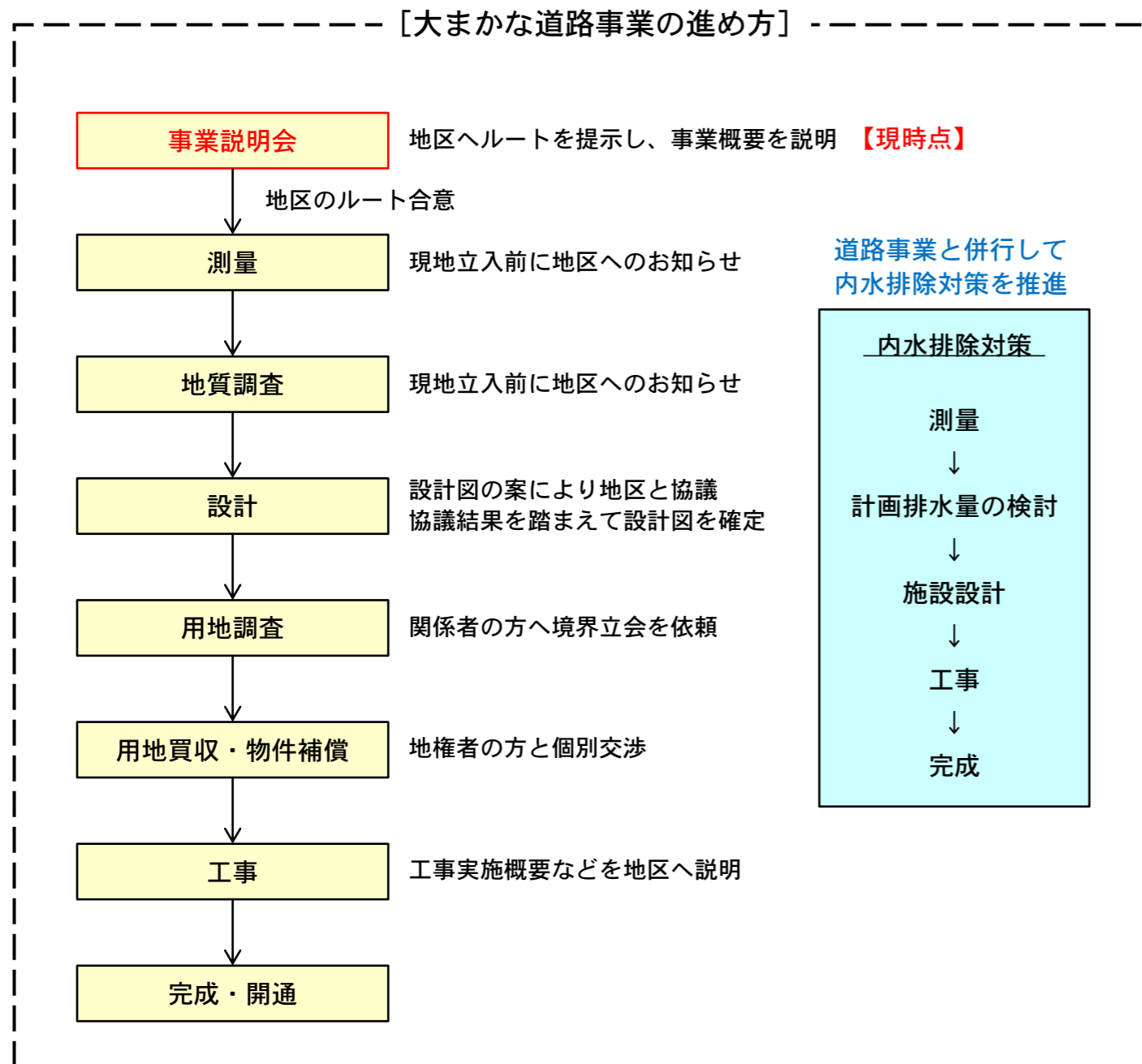
月の輪団地 (①) から西方向を見た現況と完成イメージ

飯岡神社北側付近 (②) から東方向を見た現況と完成イメージ



6. 事業の進め方（参考）と皆様方へのお願い

現在、地区の皆様方へルートや事業の計画に関する説明を、説明会の開催や資料の配布などを通じて行っています。県・町としては、今後、各段階に応じて地区や地権者の方々と話し合いなどをさせていただきながら事業を進めることとしています。



上図のとおり、道路が完成して開通するまでには、多くの手続きや話し合いなどを経ることとなります。

県・町としては、美作岡山道路の整備効果を早期に発現させるため、一日でも早くルート合意をいただき、早期開通に向けて建設の準備を進めていきたいと考えています。

皆様方におかれましては、県・町の考えと取組方針について、何卒ご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。